



2017-2018年度 主題

- 国際会長 : Henry Grindheim "Let us walk in the Light-together  
「ともに、光の中を歩もう」
- アジア会長 : Tung Ming Hsiao "Respect Y's Movement"  
「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事 : 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」
- 湘南・沖縄部長 : 金子 功 「Y'sの絆を強め、広げよう」
- クラブ会長 : 今城 宏子 「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」  
～仲良く、楽しく、無理をせず～



今月の聖句

主においてよろこびなさい。  
重ねて言います。  
喜びなさい。  
フィリピ4・4

信徒の友3月号「みことばにきく」より

《巻頭メッセージ》

7年目に思うこと

今城高之

2011年3月11日、16時46分に宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmの海底24kmを震源とする地震が、これほどの被害を、これほどの長きにわたって、人々に苦難をもたらすとはだれが想像したでしょう。地震に起因する未曾有の大津波と、それが引き起こした、原発事故という、3つの災害が同時に発生したもので、これをまねなケースと言ってしまってよいものかどうか迷うところです。特に、原発事故については、その計画・建設の段階から行われたであろう様々なアセスメントの結果を、国や自治体、産業界の人たちはどのように読み解いたのか、未だ疑問が残ります。自然災害と言ってしまってもいいものとは決して思いません。

さて、私自身とこの大災害との関わりを振り返ってみます。発震当日、情けないことに、私は、丁度1週間前にゴルフ場のカート事故による怪我のため、顔や体に包帯がまかれた「ミイラ」状態で家で療養中でした。家内は外出中で、手洗に起きたその瞬間、遙か昔に経験したと同じ揺れを感じました。壁伝いにリビングまで行くと、壁に掛けた絵皿がブンブン揺れているのを目にしました。テレビに釘付けになっていると、報じられる被害が次第に大きくなってきました・・・。

それから約2か月後、仕事の仲間共々仙台に向かいました。現役を退き、手伝っていた自動車リサイクルに従事する業者の団体が、宮城県各地で津波に襲われ、地中に埋もれた車をボランティア活動として回収することを決めたからで、現地関係者との相談に加わったものです。その後の数ヶ月間、全国各地から集まった業者の皆さんの、果敢な働きにより、数万台の被災車両が回収され、最終的には、資源リサイクルの処理がなされました。

我々のつづきクラブは、震災発生2か月後にクラブの創立5周年を迎えました。当時のブリテンには、林ワイズ(当時東日本区事務所員)が東日本区の支援物資搬送隊に参加して、雪の妙高高原を経由し仙台YMCAへ物資を搬送したことが報告されています。

2011年9月29日に、当クラブの創立5周年を記念して、第1回山元町(宮城県亘理郡)訪問が行われました。仙台Yのご紹介により、同地の老人施設「みやま荘」への慰問を行いました。その後、同じ町の保育所も訪問するようになり、現在まで、毎年1回は山元町を訪問しています。当時に比べると見違えるばかりの復興ぶりではありますが、被災のモニュメントのように、当時のまま取り残された小学校や、人通りの全くない海岸に、巨大な防波堤ができていたり、異様な景色を見るたびに、7年間で、あの震災の傷を癒すに決して長くない期間であったことを知らされます。今年も、山元町訪問が行われます。(完)

3月の本例会

日時 3月23日(金) 18:30～

場所 かけはし都筑

司会 : 今城T 受付 : 鈴木K

【プログラム】

- 1) 開会点鐘 会長
- 2) ワイズソング・信条 一同
- 3) 今月の聖句と祈祷 鈴木S
- 4) ゲスト・ビジター紹介 司会
- 5) 会長挨拶
- 6) 卓話 伊藤哲郎さん  
「EUはどこへ向かうのか？」
- 7) Happy Birthday  
相賀昇 (3/22)  
辻 孝子 (3/31)
- 8) YMCA報告 山中北Y館長

【懇親・会食会】

センター南駅前「ガブリエル」にて



《2月のデータ》

例会出席	16名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計
メンバー	13名	月間出席数	11名	使用済切手	0g	0g
ビジター	0名	メーキャップ	1名	プルタブ	0.6kg	0.6kg
ゲスト	13名	月間出席率	71%	スマイル	0円	73,512円

## 《例会報告》

## 2月度本例会（北Y交流会）報告

2018年2月23日（金）PM6時30より、横浜北YMCA近くの中華料理店「敦煌」において、恒例の、つづきワイズ/北YMCAの交流会が行われました。毎年2月のつづきクラブ本例会が交流会の場となり、ここ数年間続けてきました。

## I部 例会

今城宏子会長の開会点鐘・ワイズソング・信条で始まり、今回初参加の愛澤牧師（北YMCA運営委員）に聖句・祈祷をお願いしました。その後、山中館長より北Yの運営委員としても活躍されている愛澤牧師の紹介がありました。また会長から、交流会の常連だった林夫妻の休会や、その他の欠席者が寂しさを覚えるが、毎回、交流会を楽しみにしていますと挨拶がありました。

## 《茂木さんのお話》

ゲスト参加の横浜YMCA理事の茂木さんより、1995年1月の阪神・淡路、2011年3月の東日本、2016年4月の熊本の震災におけるボランティアの受け入れについての変化につきご紹介があった。阪神・淡路では寝袋、食料、飲料水等基本的な資材の準備がないままボランティアを受け入れたため、現場がかなり混乱したが、東日本、熊本では、前例に学び、それらの準備ができない限りボランティアの受け入れはしなかったとのこと。

## 《第7回日・中・韓YMCA平和フォーラム参加者報告》

2017年12月16日～20日韓国・光州で開催された

フォーラムには、横浜YMCAより、つづきワイズ鈴木茂さんを含む9名が参加した。同フォーラムに参加した北Yスタッフの前橋あかねさんより、ユースの活動を中心に、フォーラムの報告があった。

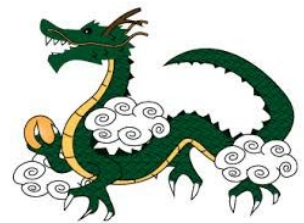
- \* 光州事件（1980年5月、光州市で起こった大規模な反政府デモに対し、軍隊が出動して多数の死傷者を出した事件）で亡くなった人を追悼、記憶する為の記念墓地の見学が行われた。
- \* 日中韓YMCAが共に集い、過去の歴史を学びつつ、交流を通して互いの友情を深めて未来に向けて「平和」を実現するために議論をした。
- \* 今回のフォーラムは、ユースが主体となって準備を行い、ユース世代とシニア世代に分かれ、この問題について真剣に議論した。

## II部交流会

会長による食前祈祷、岡田副会長の乾杯の後、会食、懇談、面白い一言プラス自己紹介など9時過ぎまで会は盛り上がりました。なごり欲しそうな、帰りたくなさそうな人も数名いましたが山中館長の閉会挨拶で無事終わりとなりました。

参加者：（今城H、T 岡崎 岡田・M、K 久保、鈴木K、S 生井 山中 横田）

（記・司会 久保勝昭）



（上）ピンクシャツデーを覚えての記念撮影。（右）司会の久保さんと北Y山中館長。

## 第80回Y-Y's協議会 出席報告

日時：2018年3月6日（火） 19：00～20：00  
 場所：横浜中央YMCA501教室

開会礼拝 司会：長田光玄（横浜とつか担当主事）  
 讃美歌21：18番「心を高く上げよ」  
 聖書：マタイ22：34～40 祈祷

協議会 司会：浦出昭吉横浜とつかクラブ会長

◆挨拶：田口努横浜YMCA総主事  
 金子功湘南・沖縄部部長

◆メッセージ：池田直子  
 YMCA NEWロゴの広がり、そしてワイズメンズクラブの今後の留意点に関してブランドロゴ表出について扱い方及び考え方について詳しい説明がされた。使用する場合は、原則、各担当主事に照会するものとする。

- ◆協議
  - ・東日本大震災復興支援活動  
 「今、私たちにできること」：大塚英彦
  - ・YMCA主催の講演会  
 「被災地で出会った人びとの今」森健氏 3/9  
 東日本大震災かながわ追悼の夕べ 3/10 の紹介
  - ・支援状況報告 2017年度募金額 3,212,597円  
 累計額 80,807,186円

- ・各YMCA、保育園、ケアプラザ、地区センターや富士山、三浦ふれあいの村等の取り組み、活動が別紙にて報告された。
- ・各ワイズメンズクラブも其々にチャリティーコンサートや被災地支援のプログラムを継続していることを報告。

◆報告  
 横浜YMCA新年度事業方針・計画（田口総主事）  
 ・基本聖句「隣人を自分のように愛しなさい」  
 マタイ22：39

・ブランドスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく」を策定。創立134年目を迎える横浜YMCAは互いの存在や個性を認め合い、高めあうことのできる善意や前向きな気持ちによってつながる「ポジティブネット」を通して誰もが公平に将来の夢や希望を描ける社会を目指していく。そのための3つの具体案が提示された。

・YMCA会員大会（2/12）報告（別紙にて）  
 井上孝一担当主事

・ワイズメンズクラブ  
 YMCA-Y's 合同新年会、部長沖縄公式訪問（金子功部長）、部エクステンション委員会（佐藤節子委員長）の報告に続き各クラブのトピックスなど報告された。

◆次回日時：2018年6月5日 担当：厚木クラブ  
 （完：今城宏子記）

## 横浜北YMCA報告

館長 山中奈子

3月は地域活動イベントが目白押しです。横浜北YMCAは「帰宅困難者一時滞在施設」に指定されています。これは、震災などの影響で事業所から自宅までの交通手段がなくなり、帰宅できない方へトイレ等の貸し出しや一時的な仮眠所を提供するものです。新横浜地区を中心とした

「帰宅困難者避難訓練」が3月2日（金）に新横浜駅周辺で行われました。新横浜地区には多くのホテルや事業所があります。約300名が参加して、高齢者・障がいのある方、外国語しかわからない方などを設定して訓練を行いました。今年で4年目を迎え、訓練もスムーズになってきました。毎年行うことが大切なのだと感じました。

3月3日（土）には、地域の方とともにエネルギーを考えるグループ「菊名打ち水大作戦実行委員会」で未来のエネルギーについて考える会を行いました。近隣の学童保育の子どもたちとともに太陽光発電について学びました。地域の方々との活動は、その地域での課題が浮き彫りになってきます。たくさんの関わりをもって地域のYMCAとして活動していきたいと思えます。（完）



**今できる省エネと 未来のエネルギーについて考えよう!**

日時：平成30年3月3日（土）10時～12時  
 場所：港北公会堂2階第一会議室 定員40人  
 ※参加料、飲み不要・連絡会場へお越しください。

大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会では、毎年実施している夏の打ち水大作戦で地球温暖化の悪影響を考へてきました。2018年からは、エネルギーの見える化に取り組み、ワークショップなどで学びエネルギーを考えたいです。今回は太陽光発電について講話聴講見学と講演です。

**プログラム**

調査報告「太陽光発電どれだけ進んでいるの？」  
 大豆戸菊名エネルギー調査隊

講演「太陽光発電ってなんだろう！」  
 講師：佐藤一子  
 NPO法人ソラエネルギープロジェクト事務局員

意見交換「太陽光発電を考える」  
 ※私たちにできる省エネ、今回は太陽光発電に關して経験豊富な佐藤さんといっしょに意見交換をしましょう。

大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会  
 実行委員長 大豆戸裕子 事務局長 藤崎 光雄  
 大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会事務局  
 ●大豆戸菊名子ども会 ●菊名子どもクラブ  
 ●大豆戸学童クラブ ●NPO法人ソラエネルギー  
 ●横浜国立大学 緑ヶ丘 ●横浜緑ヶ丘  
 ●ワークショップ 緑ヶ丘

お問い合わせ・連絡先  
 事務局（小林） 港北区菊名6-13-31-509  
 TEL: 045-401-6063 (FAX: 045-401-3068)  
 メール: ws.period@kikunagawa.net

このエネルギーの見える化活動は港北区役所の地域の子カラの助成金を受けております。

### 3月事務例会 報告

- 日時 3月13日(火) 18:00~19:30
- 場所 田園都筑教会
- 出席者 今城T、今城H、岡崎、岡田K、岡田M、久保胡麻尻、鈴木K、鈴木S、辻Ts、福島、横田手術・加療中の辻Tsが例会に復帰。
- 開会点鐘・黙祷をもって開会。
- 報告事項
  - ①3/3-4御殿場東山荘にて開催された、東日本区次期会長研修会には岡田K次期会長並びに鈴木S部監事が出席。湘南・沖縄部からは当クラブを含む4クラブのみが出席。国によってYサ活動に関する考え方に差があること、クリスチャニティに関する考え方などについて話し合いがなされたとのこと。
  - ②第80回Y-Y's 評議会 (3/6) について会長より報告があった。(別記)
  - ③富士山グローバル エコ ヴィレッジの研修棟献堂式に、クラブより鈴木S、今城Tの二名が出席。素晴らしい建物が完成したことが報告された。

④横浜YMCAチャリティゴルフが開催され、当クラブより、鈴木S、久保、横田の3氏が参加。総勢116名が参加し、100万円がBAPY活動に献金された由。

- 協議事項
  - 次年度ロースターの記載事項を各自がチェック。会長より区に提出の予定。功労会員、休会者の記載に注意する。
- 今後の予定
  - 3/13(火) 3月事務例会
  - 3/23(金) 本例会 卓話：伊藤哲郎さん
  - 4/10(火) 4月事務例会
  - 4/27(金) 4月本例会 卓話：久保ワイズ
  - 4/21(土) 部評議会
- その他の活動予定
  - CS関連活動予定等は、書記が管理するクラブカレンダーに記載し、会員で共有できるよう計画する。
- 事務例会終了後、最寄りの「一心」にて会食・懇談を行った。

(今城T記 完)

### 3月例会 卓話スピーカー 伊藤哲郎氏 略歴

1943年 広島市にて出生  
 高校、大学で各1年間アメリカ留学  
 1967年 東京大学法学部中退、外務省入省  
 ~1969年 仏ボルドー大学にて仏語研修  
 1969~2003年外務省勤務  
 在外 パリ、スリランカ、ブラッセル、バングラデッシュ、ジュネーブ、ロンドン、セネガル(大使)  
 本省 経済局、経済協力局、内閣官房  
 2003年~2011年 東海大学法学部、同法科大学院教授(国際法)



▽ようやく春の到来と思いきや、肌寒さがぶり返すなど不安定な気候です。  
 ▽そんな中開かれたのが、富士山エコヴィレッジの研修棟献堂式(左)と鎌倉・つか両クラブ合同の「ワカメ例会」(上)。同日開催のため、両方に出席の鈴木ワイズと編集子の両名は早朝から深夜まで大活躍となりました。  
 ▽北Yとの交流会では、日・中・韓のYMCA平和フォーラムに参加した北Yスタッフ前橋さんの報告が印象的でした。若い目に写った平和への思いがより多くの人々にシェアされるよう祈って止みません。(編集子)

(編集後記)